

記事を読んで、問いに答えなさい。

2021年6月12日朝刊

SDGs でつかめ 新たな商機



廃プラスチックを再生したペレット。製造には強みの破砕技術を活用した＝掛川市のプラントシステム掛川工場

県内中小 取り組み拡大

持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みが、県内中小ものづくり企業に広がっている。社会的責任の追求を新規事業の立ち上げなどに発展させて、新たな商機をいどそうとする動きもある。社会の関心は高まりつつあり、SDGsが重要なビジネス戦略の一環にみられている。

破砕機メーカーのプラントシステム（静岡市清水区）は5月、掛川市内でプラスチックリサイクル専用工場を本格稼働させた。排出業者から厚くプラスチックを再生可能なペレットに加工する。工場取得には静岡県と日本政策金融公庫の協調融資で調達した資金を充てた。

新規事業展開や協業も視野

企業や団体がSDGsの取り組みを発表する静岡市独自の宣言制度「SDGs宣言」は、2019年10月の開始から半年で100件を超えた。21年5月末時点で289件。浜松市が19年5月に設立した官民連携基盤「SDGs推進プラットフォーム」は、21年5月末時点の会員数が300以上に上っている。

「本業で社会問題解決」重視

調味料メーカーのマルハチ村松（焼津市）によると、契約交渉で社会的責任を重視する企業からの問い合わせが増えていると明かした上で、「同じ理念を共有できる仲間を増やしたい。つながりから新たな協業や取引が生まれる可能性もある」と話す。

自動車用シート織製加工の平野ヒール工業（磐田市）は、外国人の積極活用を通じて多文化共生社会の実現に貢献してきた。平野利直社長は、取り組みに関する各企業からの問い合わせが増えていると明かした上で、「同じ理念を共有できる仲間を増やしたい。つながりから新たな協業や取引が生まれる可能性もある」と話す。

「廃プラ問題は、思想だけでは解決しない。資源循環を可能にする機械が必要だ」。木内智之社長は強調する。強みの破砕技術を生かして、新品素材のプラスチックに近い品質を実現した。工場は、技術やコストを顧客に示すデモプラントとしても活用する。実証試験を重ねながら、廃プラ処理の循環が国内で完結する仕組みの確立を目指す構えだ。

①SDGsを日本語で書きなさい。()

②SDGsの取り組みは、静岡県内のどのような企業に広がっているか。()

③SDGsに「取り組む」「取り組まない」は、それぞれ企業にどのような影響を与えると考えられるか。

▽取り組む()

▽取り組まない()

④SDGsの取り組みで、今後重視されると考えられる視点を挙げなさい。()

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2021年6月12日朝刊

SDGs でつかめ 新たな商機



廃プラスチックを再生したペレット。製造には強みの破砕技術を活用した＝掛川市のプラントシステム掛川工場

県内中小 取り組み拡大

持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みが、県内中小ものづくり企業に広がっている。社会的責任の追求を新規事業の立ち上げなどに発展させて、新たな商機をいどそうとする動きもある。社会の関心は高まりつつあり、SDGsが重要なビジネス戦略の一環になっている。

破砕機メーカーのプラントシステム（静岡市清水区）は5月、掛川市内でプラスチックリサイクル専用工場を本格稼働させた。排出業者から厚くプラスチックを再生可能なペレットに加工する。工場取得には静岡県と日本政策金融公庫の協調融資で調達した資金を充てた。

新規事業展開や協業も視野

企業や団体がSDGsの取り組みを発表する静岡市独自の宣言制度「SDGs宣言」は、2019年10月の開始から半年で100件を超えた。21年5月末時点で289件。浜松市が19年5月に設立した官民連携基金「SDGs推進プラットフォーム」は、21年5月末時点の会員数が300に上っている。

「本業で社会問題解決」重視

静岡県経済研究所の森下由紀調査グループ長は、中小企業がSDGsを経営に取り込む動きが活発化していると指摘。「企業活動の余力を慈善活動に振り向けるのではなく、本業で利益を追求しながら社会問題の解決を図る視点が重視されている」と話す。

調味料メーカーのマルハチ村松（焼津市）によると、契約交渉で社会的責任を重視する企業からの問い合わせが増えている。同社が「同じ理念を共有できる仲間を増やしたい。つながりから新たな協業や取引が生まれる可能性がある」と話す。（経済部・高林和徳）

「廃プラ問題は、思想だけでは解決しない。資源循環を可能にする機械が必要だ。木内智之社長は強調する。強みの破砕技術を生かして、新品素材のプラスチックに近い品質を実現した。工場は、技術やコストを顧客に示すデモプラントとしても活用する。実証試験を重ねながら、廃プラ処理の循環が国内で完結する仕組みの確立を目指す構えだ。SDGsに取り組まないことがビジネス上のリスクになる可能性も浮上している。自動車のシート縫製加工の平野ヒール工業（磐田市）は、外国人の積極採用を通じて多文化共生社会の実現に貢献してきた。平野利直社長は、取り組みに関する各企業からの問い合わせが増えていると明かした上で、「同じ理念を共有できる仲間を増やしたい。つながりから新たな協業や取引が生まれる可能性がある」と話す。

①SDGsを日本語で書きなさい。（ **持続可能な開発目標** ）

②SDGsの取り組みは、静岡県内のどのような企業に広がっているか。

（ **静岡県内中小ものづくり企業** ）

③SDGsに「取り組む」「取り組まない」は、それぞれ企業にどのような影響を与えると考えられるか。

▽取り組む（ **新たな協業や取引が生まれる可能性がある。／取り組みに関する各企業からの問い合わせが増える。／同じ理念を共有できる仲間が増える。** ）

▽取り組まない（ **取引がなくなってしまうリスクにつながる。／ビジネス上のリスクになる可能性がある。** ）

④SDGsの取り組みで、今後重視されると考えられる視点を挙げなさい。

（ **（例）（企業活動の余力を慈善活動に振り向けるのではなく、）本業で利益を追究しながら社会問題の解決を図る視点。** ）

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校～高校／社会、総合）